

告辞

桜のつぼみがほころび、暖かな春風が新しい季節の到来を告げる今日、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

佛教大学の教職員を代表し、心からお祝い申し上げます。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆さまにも、深く敬意を表し、共に喜びを分かち合いたいと思います。

本学の通信教育課程大学院に進まれた皆さんは、それぞれの志を胸に、新たな学びの扉を開かれました。皆さんの多くは、仕事や家庭、地域社会の役割を担いながら、高度な知識と専門性を身につけようとされています。その姿勢は、まさに生涯学習の理想を体現するものであり、本学が長年にわたり大切にしてきた「智慧と慈悲」の仏教精神にも通じるものです。

大学院での学びは、単なる知識の蓄積ではありません。それは、問いを立て、深く考え、自ら新たな知を創造する営みです。通信教育課程で学ぶ皆さんには、時間や環境の制約を乗り越える努力が求められるかもしれません。しかし、学びに向き合うその姿勢こそが、社会をより良くする原動力となるのです。私たち教員・事務職員一同は、皆さんが主体的に探究を深められるよう、全力で支えてまいります。

また、本学の通信教育課程は、全国各地から、さらには海外から、多様な経験を持つ方々が集う学びの場です。この環境こそが、皆さんの研究をより豊かにし、視野を広げる貴重な機会となるでしょう。オンラインでの交流や研究会への参加を通じて、志を同じくする仲間と刺激し合い、ともに学びを深めていただきたいと思います。

大学院での学びは決して容易ではありません。私自身の大学院生活を振り返っても、多くの困難に打ちのめされそうになった出来事が思い出されます。しかし、その困難を乗り越えた先には、より深い知識と洞察、そして研究を通じて社会に貢献する喜びが待っています。皆さんが自らの可能性を信じ、一步ずつ着実に前進されることを心より願っています。

佛教大学の歴史ある学びの場に加わられた皆さんが、それぞれの研究を実りあるものとされること、そしてこの学びが皆さんの人生と社会に大きな価値をもたらすことを祈念し、私からの告辞といたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和7年4月5日

佛教大学長 佐藤 和順